

基調講演

「納得のいく死を実現する医療 ～日野原重明先生は死をどう生きたか～」

川越 厚先生

(医療法人社団パリアン理事長
／クリニック川越 院長)

1973年東京大学医学部卒業。茨城県立中央病院産婦人科医長、東京大学講師、白十字診療所在宅ホスピス部長を経て、1994年より6年間、賛育会病院長を務め、22床の緩和ケア病棟を立ち上げた。

2000年6月、自らのクリニックを開業すると同時に、主にがん患者の在宅ケアを支援するグループ“パリアン”を設立。訪問看護、居宅介護支援、ボランティア等のサービスを提供している。

主な著書に「婦人科腫瘍学」（中外医学社、1990年）、「家庭で看取る癌患者」（メチカルフレンド社、1991年）、「家で死にたい」（保健同人社、1992年）、「在宅ホスピスケアを始める人のために」（医学書院、1996年）、「がん患者の在宅ホスピスケア」（医学書院、2013年）、「ひとり、家で穏やかに死ぬ方法」（主婦と生活社、2015年）などがある。2010年第6回ヘルシー・ソサエティ賞受賞、2014年NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演。



平成31年

1/13 (日)

14時～16時30分

(開場13時30分)

会場

秋篠音楽堂

近鉄西大寺駅徒歩3分
奈良ファミリー内6階

シンポジウム

「達人に学ぶ

生きかたと逝きかた」

座長 森井 正智 (ひばり往診クリニック)

シンポジスト 河田 安浩(ちゅうわ往診クリニック)
市場 美香(あいナース学園前訪問看護ステーション)
山崎 正晴(奈良県立医科大学附属病院)

どなたでも無料で
参加できます

【お問い合わせ先】

日本在宅ホスピス緩和ケアネットワーク 事務局 森井正智
奈良市三碓6-9-23 (ひばり往診クリニック内)
TEL0742-49-8700 FAX0742-51-8000

共催 日本在宅ホスピス緩和ケアネットワーク
塩野義製薬株式会社

Japan Home Hospice Palliative Care Network
日本在宅ホスピス緩和ケアネットワーク 総会